



東本郷

元気いっぱい やる気いっぱい 笑顔いっぱい 東本郷小

学校だより

令和3年10月1日発行
川口市立東本郷小学校
TEL: 284-8076

読書の秋 お気に入りの本を探して読書をしましょう

校長 朝倉 伸行

学校では、落葉樹の葉が色づき、マテバシイの木の実(ドングリ)が大きくなって地面に落ちている様子が見られるようになりました。また、学校ファームの新たな作付けが先月のから始まりました。朝夕の空気は冷たくなり、夏から秋への季節の変化を感じています。芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋……。暑さも一段落した秋は過ごしやすく、様々なことに挑戦しやすい季節でもあります。今月は、秋の季節にちなみ、読書について話をしたいと思います。

子供たちの読書活動には好きな本を読むだけでなく、文章から情報を読み解き、自分の考えの形成に活かしていく読書の必要性が指摘されています。小学校低学年における語彙の量が学力に影響しているという指摘もあり、言語能力を育てていくことは小学校において大切なことです。そのため、子供の読書活動を推進することは、学校だけでなく、家庭・地域と連携していくことが重要と考えます。

近年、スマートフォン等の普及に伴い、情報に触れることは容易になる一方で、視覚的な情報と言葉の結びつきが希薄になり、知覚した情報の意味の吟味や内容を的確に捉えて読解する機会が少なくなっているのではないかと指摘があり、特に学年が進むにつれて、その傾向が明らかになっているようです。子供たちがよい本と出会い、読書を通して言葉を学び、豊かな感性を磨き、表現力を高め、自分の考えを形成し相手に伝えられるようになることは、子供たちが社会に出て生きていくために大切なことと考えます。

そこで、学校では、読書活動の推進に向けて、毎週月曜日の朝に『朝読書』の時間を設定し、読書習慣の定着を図るとともに、『低学年100冊、中学年3,000ページ/4,000ページ、高学年5,000ページの読書量』を目標設定し、読書に親しむ子供の育成に取り組んでいます。また、今月の生活目標を『たくさん本を読もう』とし、児童委員会の活動や図書支援員の方の協力を得て学校図書館を活用した取組の充実を通して、その目標達成に向けて支援をしております。

読書の秋、そして今月27日からの読書週間を機に、お気に入りの本を探し、家庭での時間を少し読書の時間にぜひ充ててみてはいかがでしょうか。

今月から緊急事態宣言が解除され、本日から午後の授業でも対面授業を実施します。宣言が解除されたとはいえ、未だ新型コロナウイルス感染への不安は拭えません。学校では、感染拡大に配慮しながら教育活動を創意工夫し、子供たちのがんばる気持ちを刺激し、一人一人の更なる成長につなげていきたいと思っております。ご家庭におかれましても引き続き、お子様の健康観察・健康管理と『コドモン』保護者アプリを活用した健康状況の報告をお願いします。そして、お子様を含めご家族に発熱、咳などの風邪症状がある場合には、お子様の登校を控え、休養するなどの対応をご協力いただくことがあります。これまでと同様、学校とご家庭の連絡・相談を密にしていきたいと考えています。また、休日等の過ごし方につきましても、引き続き不要不急の外出を控えるなどご理解とご協力をいただきたいと思います。

先月のオンライン学習実施にあたり、ご協力いただきましたことに感謝申し上げます。今月も引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。